

空中から、水上から、車窓から。錦に染まる雄大な景観美を、新鮮な視点でお楽しみください。

キャレル

CARREL

11

2025 Vol.379

定価 700円

新潟をもっと楽しみたい大人たちに

| 巻頭特集 |

乗り物で巡る 絶景紅葉

特等席から
堪能!

| 特集 |

新潟空港から行く
異国情緒を訪ね歩く旅
長崎／札幌・小樽

| インタビュー | CARREL FOCUS

成井豊さん
脚本家・演出家

乗り物で巡る絶景紅葉

鳥になったような気分で紅葉を満喫
周遊すれば二つの「日本一」を体験

ゴンドラやロープウェイで標高1,300〜1,400メートルまで上り、眼下に広がる紅葉風景を楽しむ苗場高原・田代高原は県内きってのダイナミックな紅葉スポット。



二居湖
ふたいこ

苗場ドラゴンドラから望む「二居湖」。清津川に建設されたダム湖で、神秘的なエメラルドグリーン色に輝く。下流側の田代ロープウェイからは眼下に奥清津発電所も一望できる

「苗場ドラゴンドラ」は日本最長約5.5キロメートルという長大な空中散歩が楽しめる。「乗車後しばらくカラマツの森を進み、少し上がり始めたかなと思つたところで急降下が始まります。そのまま溪流沿いを滑空して、また急上昇し、まるで鳥のような視点で紅葉や風景をお楽しみいただけます」と、広報担当の今井らなさんは、その見どころについて説明する。ぐるり360度、眼前に次々と展開する絶景は、さながら紅葉の絵巻のよう。長さ「日本一」のゴンドラならではの醍醐味だ。

一方、「田代ロープウェイ」は瞬間地上高の「日本一」を誇り、高さ230メートルから見渡す紅葉の絶景が何とも雄大だ。山頂エリアの田代湖の周辺には、秋の山々を望む高原の大パノラマが広がり、散策も楽しい。

苗場
ドラゴンドラ

苗場プリンスホテルがある苗場高原の山麓駅(標高921メートル)と、田代高原の山頂駅(1,346メートル)とを結び、全長5.481メートル、片道約25分の空中散歩を楽しめる。写真は絶景で名高い「14号柱」付近の紅葉風景

そろそろ山々の色づきの便りが届くころ。今年の紅葉は小旅行気分が出かけていろいろな乗り物から風景を楽しんでみませんか。眺める視点が変わると、新鮮な驚きもあることでしょう。ロープウェイか、列車かそれとも船か。行き先を決めるときからワクワクしてきます。

湯沢町

苗場ドラゴンドラ
田代ロープウェイ



苗場
ボード
ウォーク

苗場ドラゴンドラの山麓駅からほど近く、「フジロックの森」にある苗場ボードウォークは約1.7キロメートルの木道。色づいた森の中を散策できる紅葉スポット

一枚のチケットで「各ゴンドラ・ロープウェイの往復乗車」が、「各乗り物を片道ずつ乗車」して周遊するコースで楽しむことができる。「苗場ドラゴンドラ」山頂駅と「田代ロープウェイ」山頂駅の間は徒歩と無料の「らくらくリフト」で約30分。双方の山麓駅をつなぐ連絡バスも無料で運行されているので、どちらからの出発でも安心だ。

めくるめく紅葉絵巻。
錦秋の魚沼の絶景を
空中散歩で楽しむ

田代高原



「山頂エリア」には開放的な風景が広がる。山頂駅付近からは、日本百名山の苗場山や巻機山、谷川連峰などの雄大な山々のパノラマが楽しめる。田代湖畔の遊歩道には眼下に湖を望むビュースポットもあり、周遊するのも楽しい

苗場高原・田代高原の紅葉

見頃◎10月上旬(山頂)〜11月上旬(山麓)
住◎湯沢町三国、三保

■苗場ドラゴンドラ
期◎【紅葉営業】11月9日(日)まで
☎025-789-4117(苗場スキー場)
住◎湯沢町三国202 Pあり

■田代ロープウェイ
期◎【紅葉営業】11月3日(月・祝)まで
☎025-789-3111(かぐらスキー場)
住◎湯沢町三国1066 Pあり

■共通情報
営◎【運行時間】苗場ドラゴンドラ／田代ロープウェイ:9時〜15時(下り最終16時)、らくらくリフト:9時15分〜15時45分
料◎【往復乗車料金】大人:4,000円、小学生:2,300円 ※各ゴンドラ・ロープウェイの往復分／または双方の片道ずつの乗車分の料金 ※乗車券購入者は「らくらくリフト」および「苗場-田代連絡バス」の無料利用が可能

■苗場プリンスホテル「火打の湯」
営◎【秋季営業】11月8日(土)まで
【営業時間】15時〜23時(最終入場22時30分)
料◎【日帰り入浴】1,000円／レンタルタオルセット500円
☎025-789-2211(苗場プリンスホテル)
住◎湯沢町三国(日帰りセンター・ジュネー内) Pあり

苗場ドラゴンドラ山麓駅周辺では焼き団子や焼き芋などの秋の味覚をはじめ、レストランアルムやケータリングカーのグルメが楽しめる。電動アシスト付き自転車やお散歩カート、バギーなどの乗り物(各別途料金)で湖の周りを散策するのもいい



百問は一見に如かず!
日本一の絶景空中散歩
をお楽しみください!

苗場プリンスホテル
企画宣伝広報担当
今井らなさん



苗場プリンスホテル
「火打の湯」

日帰りリスキセンター内にある「火打の湯」は、内風呂・露天風呂を備えた日帰り入浴が可能な温泉。紅葉の山々を眺めながらくつろげる



佐藤智香子の はじめましての郷土料理

料理家の佐藤智香子さんがお届けする新解釈の郷土料理。定番の郷土料理はもちろん、郷土の食材をアレンジしたメニューもご提案。旬の果物を使ったデザートも紹介します。その土地で取れたものをおいしく料理して、もっと気軽に郷土料理を楽しみませんか？新潟らしい食卓をどうぞ一緒に。



料理家
佐藤 智香子

【PROFILE】

新潟市出身、(株)ワイオリキッチン代表。アナウンサー時代に料理に魅せられ、フランスの料理学校「ル・コルドン・ブルー」に学ぶ。2000年頃から料理家としての活動を開始。著書「365日おにぎりレシピ」英訳版「ONIGIRI」は世界料理本大賞2020ライス部門一位を受賞。

歯ごたえが心地よい ごはんが進む郷土の味

魚沼地方に伝わる郷土料理、きりざい。きりざいの「きり」は「切る」、「ざい」は「菜」を意味し、野菜を細かく刻むことが由来。何を入れるかは家庭によってさまざま。ごはんが進む「わが家の味」は、飽きのこない食卓の定番です。



きりざい

材料 作りやすい分量(3人前)

野沢菜 70g
たくあん 50g
ニンジン 1/2本(50g)
塩 小さじ1/3
納豆 2パック
塩昆布 5g
みりん 小さじ1/2
白ゴマ 小さじ2
しょうゆ 適量
ごはん 適量

作り方(調理時間 約20分)

- ①野沢菜はみじん切りにする。たくあんは7mm角に切る。ニンジンは千切りにして塩をもみ込む。
- ②納豆、①、塩昆布、みりん、白ゴマを混ぜ、味をみてしょうゆを足す。
- ③ごはんにかけていただく。

〈ワンポイント〉

塩昆布を加えることでうまみが増します。たくあん以外のお漬物でもおいしくできるので、アレンジしてさまざまな味わいを楽しんでみてください。



オランダ坂 東山手洋風住宅群 (写真提供:長崎市)

グラバー園から望む長崎湾



オランダ坂 おらんだざか

長崎の人々はかつて外国人を「オランダさん」と呼んでいたことから、外国人居留地にある坂はすべて「オランダ坂」と呼ばれた。坂を上ると現れる木造洋館の集合住宅「東山手洋風住宅群」の見学もお勧め
住○長崎県長崎市東山手町

Meganebashi



眼鏡橋 めがねばし

江戸時代に架けられた石造りアーチ橋。東京都「日本橋」、山口県「錦帯橋(きんたいきょう)」と並び日本三名橋に数えられる
住○長崎県長崎市魚の町と諏訪町の間

国指定
重要
文化財

Orandazaka

新潟空港から広がる空の旅へ

新潟空港からは、札幌(新千歳・丘珠)、名古屋(中部国際・小牧)、大阪(伊丹)、神戸、福岡、沖縄(那覇)へと、国内6都市8路線が就航。さらに国際線では、ソウル、上海、台北へも直行便でアクセスが可能。北へ南へ、そして海外へ。空の玄関口・新潟空港を飛び立てば、目的地まではあっという間。気軽に、自由に、日常を離れて空の旅へ出かけてみては。



福岡空港から
長崎市街地
までの
アクセス

福岡空港～博多駅 > 福岡市営地下鉄空港線 福岡空港駅～博多駅 約5分

博多駅～長崎駅

- JRリレーかもめ(特急)+JR西九州新幹線/約1時間30分
- 西鉄バス「九州号」/約2時間30分
- 車/約2時間(高速道路を使用)

が現れる場所も。景色の変化がめまぐるしくて戸惑いつつも新鮮だ。

「坂の街」と呼ばれる長崎では、外国人居留地に至る坂道はすべて「オランダ坂」と呼ばれていたそう。つまり、現在観光名所として知られるオランダ坂は、数ある坂の一つに過ぎないという。歩いてみると、石畳に刻まれた時間が、静かに語りかけてくるようだった。中心部の中島川に架かるのは「眼鏡橋」。国の重要文化財にも指定された石造りのアーチ橋で、川面に映る影が眼鏡に見えることからこの名前が付いたとか。



新潟空港から行く

異国情緒を訪ね歩く旅

長崎／札幌・小樽

遠くに感じていたあの街も、新潟空港から飛行機で飛び立てばあっという間に到着。

日常を忘れて、異国の風を感じてみたい――。

そんな思いで出かけた北と南の街。

南の長崎では洋館と石畳が語る異文化交流の記憶に触れ、北の都・札幌と港町・小樽では開拓時代の息吹を感じる。

歴史と風土が織りなす「異国情緒」を巡る、特別な旅に出かけよう。

空の旅メモ



今回は福岡空港を経由して長崎に。伊丹空港(大阪)を経由してもスムーズに向かうことができる。
※他、神戸空港、中部国際空港(名古屋)経由の路線便もあり

長崎

カトリック馬込教会

「異国情緒を感じてみたい」――そんな思いが、今回の旅のテーマだった。海外へ行くには費用も時間もかかる。けれど国内にも、異国の風を感じられる場所がある。しかも、新潟から意外と手軽に行ける――それが長崎だった。

新潟と同じく、明治の開港5都市の一つとして知られる港町だ。新潟空港を朝に出発すれば、午後の早い時間には長崎に着くことができる。

福岡空港までは約1時間半の空の旅。その後は新幹線や電車を乗り継いで向かうこともできるが、今回はレンタカーで長崎まで走ることにした。福岡市街からおよそ2時間の道のり。高速道路を進み、長崎県に入るとほどなく、広々とした大村湾が視界に広がる。風いだ水面はまるで巨大な湖のよう。雄大な景色に心を躍らせ、その後、山間の料金ゲートを通過し、トンネルを抜けると突然、街の雑踏が目の前に現れる。路面電車が走り、多くの車と人が行き交う。心の準備をする間もなく、目的地に降り出されたような感覚だ。ここが長崎市街。異国情緒を巡る旅が始まった。

市街を巡ってまず感じるのは、道の細さと坂の多さ。斜面に造成された街は、平地の新潟とは街の成り立ちがそもそも違う。山の側面にびっしりと建物が林立する光景は新潟では見られない。市街地のカーブを曲がると突如港

新潟空港から5時間弱の移動で長崎市街へ